

間宮 佑圭Yuka Mamiya

リオ五輪8強に貢献するなど、数々のタイトルを獲得。
バスケ界ではママアスリートのパイオニア的存在。元日本代表女子バスケアスリート！

生年月日 1990年4月3日
出身地 東京都
出身校 東京成徳大学高等学校
競技 バスケットボール
資格 児童発達支援士
JBA公認D級コーチ
JBA公認キッズサポーター

略歴

東京成徳大学中学校時代には全国大会優勝。高等学校進学後もインターハイ・ウインターカップ準優勝、3年時に国体優勝を経験。1年後輩の篠原恵選手とともに「ツインタワー」と呼ばれ、全国大会では渡嘉敷来夢選手(桜花学園)のライバルとして渡り合った。

東京成徳大学高等学校卒業後、2009年にJOMO(現ENEOS)に入団。同年の東アジア大会で初のA代表入りを果たし、以降女子バスケットボール日本代表のメンバーの主力として戦う。2013年アジア選手権では、優勝に貢献し、大会ベスト5に選出。アジア選手権は2015年、アジアカップに名称が変わった2017年にも優勝。2016年のリオデジャネイロオリンピックではベスト8進出に貢献した。

2018年5月に妊娠を発表し、第1子を出産。以来競技からはしばらく離れたが、2020年1月の女子日本代表の合宿に代表候補選手として参加。

2020年1月の女子日本代表の合宿に代表候補選手の一人として参加。2月にベルギーで開催された「FIBA東京2020オリンピック予選大会」の登録メンバー12人にも選ばれ、スウェーデン、ベルギー、カナダとの3連戦に出場。2年半ぶりの代表復帰を果たした。

「東京オリンピックに出たい」という強い意志があったものの、2021年に開催が延期され、子育ての両立を考え、大会を待たず2020年8月10日現役を退く決断を下すこととなった。

現在は、「女性アスリートの道を切り開いていきたい」という思いで精力的にバスケットボールの普及活動などに尽力している。

母親としての一面では日々の子育て生活にゆとりを持てるよう、また保護者として、ママアスリートとして意見交換をする際に的確な言葉がけができるよう、日々の生活を充実するために知識をつけ、「児童発達支援士」の資格を取得している。

経歴

東京成徳大学高等学校

JOMO/JX(2009-2018)

主な実績

Wリーグ2012-13シーズン

得点ランキング1位、ベスト5、レギュラーシーズンMVP

2013年アジア選手権 大会ベスト5

2013-14シーズン プレーオフMVP

日本代表歴

2009～2010年・2012～2017年・2020年

日本代表成績

2013年 アジア選手権 優勝

2014年 世界選手権

2015年 アジア選手権 優勝

2016年 リオデジャネイロオリンピック ベスト8

2017年 アジアカップ 優勝

2020年 東京オリンピック予選大会

現在の活動

- ・バスケットボール教室講師(未経験・小中高大学生～大人まで)
- ・バスケットボール解説者
- ・講演会講師